

2019年度 開館カレンダー(10月~2020年3月)

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2020年1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

通常 9:20~20:00 開館 □ 9:20~17:00 開館(土曜・春季など) ■ 休館日

KIU Summer Program for KID's 2019 (8/21-23)

恒例となった夏休み小学生向けイベントに、今年も参加しました。
図書館では3つのプログラムを実施しました。
子どもが好きな方、工作が好きな方、来年はボランティアで参加してみませんか？



ダンボールで作るお菓子の家
みんなで綺麗に飾り付け。

紙粘土とペットボトルで風鈴作り
難しい作業も根気よく頑張りました。



牛乳パックで帽子作り
飾りに迷いながら、オリジナルの
素敵な帽子が完成！



波のおと 情報センター(図書館)だより Vol.31 2019年10月発行
編集・発行 神戸国際大学情報センター(図書館)
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9-1-6
TEL 078-845-3344 / FAX 078-845-3355

波のおと

情報センター(図書館)だより Vol.31

2019 Autumn & Winter

~特集~
世界の文学賞

- (イギリス) ブッカー賞、コスタ賞、ゴールド・ダガー賞
- (フランス) ゴンクール賞、ドゥ・マゴ賞、フェミナ賞
- (スペイン) セルバンテス賞、国民文学賞、批評家賞
- (ドイツ) ゲオルク・ビューヒナー賞、ドイツミステリー賞
- (スイス) シラー財団賞
- (イタリア) ストレイガ賞
- (ポルトガル) カモンイス賞
- (ロシア) ポリシャヤ・クニーガ賞、ロシア・ブッカー賞
- (インド) タゴール文学賞
- (オーストラリア) マイルズ・フランクリン賞、オーリアリス賞
- (中国) 茅盾文学賞
- (韓国) 東仁文学賞
- (日本) 芥川賞、直木賞、本屋大賞
- (カナダ) 総督文学賞
- (アメリカ) ピュリッツァー賞、全米図書賞、エドガー賞
- (南米) ジャプチ賞、カモンイス賞
- ノーベル文学賞
- (北欧) 北欧理事会文学賞、ガラスの鍵賞
- (東南アジア) 東南アジア文学賞、ベトナム作家協会文学賞、シーブーラパー賞(タイ)

日本でさまざまな文学賞があるように、各国でもたくさんの文学賞があります。
みなさんの知っている賞はありますか？
今回は、本学図書館にある海外の文学賞受賞作をご紹介します。海外文学というと何となく読みづらい、馴染みがないという方もいらっしゃるかもしれませんが、良い作品は国や人種など関係なく、心に残る！この機会に是非、そんな作品を見つけてください。
※10~12月は、図書館でも企画展示「読書で世界一周」を開催しています。

世界の文学賞 受賞作品

ノーベル文学賞…ダイナマイトを発明したアルフレッド・ノーベル(1833~96)が寄付した遺産を基金とする世界的な賞。1901年以降行われ、毎年、顕著な功績のあった人に授与される6部門のうちの1つ。

『運命ではなく』
ケルテース・イムレ著/岩崎悦子訳
所在:1F 請求記号:993.7/Ke59



戦時下のブダペシュトで、主人公である14歳の少年は、勤労奉仕に向かう途中ユダヤ人狩りにあい、仲間たちとともにアウシュヴィッツへと送られる。極限状況の中、自分を見失わずに生き抜こうとする少年の物語。

『雪国 改版』
川端康成
シリーズ名:岩波文庫;緑(31)-081-3



頑なに無為徒食に生きて来た主人公島村は、半年ぶりに雪深い温泉町を訪ね、芸者になった駒子と再会し、「悲しいほど美しい声」の葉子と出会う。人の世の哀しさと美しさを描いた日本近代小説の名作。

『美しい日本の私:その序説』
川端康成
講談社現代新書;180



日本人初のノーベル文学賞受章の際の記念講演「美しい日本の私その序説」。川端はここで和歌や俳句を引用しながら、日本人の心に通底する死生観や美意識、自らの小説家としての矜持を表明した。

ピューリッツァー賞…米国の文学賞・新聞賞。新聞人ジョーセフ・ピューリッツァー(Joseph Pulitzer)の遺産により1917年に制定され、毎年、ジャーナリズム・文学・音楽の分野ですぐれた仕事をした人に贈られる。

『敗北を抱きしめて:第二次大戦後の日本人 増補版(上・下)』
ジョン・ダワー著/三浦陽一、高杉忠明訳
所在:1F 請求記号:210.76/D89



一九四五年八月、焦土と化した日本に上陸した占領軍兵士がそこに見出したのは、驚くべきことに、敗者の卑屈や憎悪ではなく、平和な世界と改革への希望に満ちた民衆の姿であった…。

『停電の夜に』
ジュンパ・ラヒリ著/小川高義訳
所在:1F 請求記号:933/L13



ロウソクの灯されたキッチンで、停電の夜ごとと秘密を打ち明けあう若い夫婦。ボストンとカルカッタを舞台にコミカルで切ない日常のドラマを繊細な筆致で描く。短篇集全9篇。

『すべての見えない光』
アンソニー・ドーア著/藤井光訳
所在:1F 請求記号:933.7/D81



孤児院で幼い日を過ごし、ナチスドイツの技術兵となった少年。パリの博物館に勤める父のもとで育った、目の見えない少女。戦時下のフランス、サン・マロでの、二人の短いめぐり合い。そして彼らの運命を動かす伝説のダイヤモンド。

ブッカー賞…ブッカーマコンネル社が1969年に創設。正式名称、マン・ブッカー賞。毎年、イギリス連邦およびアイルランド国籍の著者による、英語で発表された長編小説に授与される。

『日の名残り』
カズオ・イシグロ著/土屋政雄訳
所在:1F 請求記号:933.7/I73



品格ある執事の道を追求し続けてきたステイーブンスは、短い旅に出た。長年仕えた主への敬慕、執事の鑑だった亡父、女中頭への淡い想い、二つの大戦の間に邸内で催された重要な外交会議の数々。失われゆく伝統的英国を描く感動作。

『イギリス人の患者』
M・オンダーチェ著/土屋政雄訳
所在:1F 請求記号:933/O65



第二次大戦下のイタリアの僧院で、不時着したパイロットが手当を受けている。「イギリス人の患者」としか身元を明かさぬ彼は、全身に火傷を負い、記憶も喪失している。だが、彼が看護婦に語り紡ぐ言葉は、この上なく深くミステリアスな愛の世界だった。

『アムステルダム』
イアン・マキューアン著/小山太一訳
新潮文庫;マ-28-1



ロンドン社交界の花形モリーが亡くなった。夫のいる身で奔放な生活を送った彼女の葬儀には、元恋人たちが参列する。英国を代表する作曲家、大新聞社の編集長、外務大臣。やがて三人は、彼女が遺した写真のために過酷な運命に巻き込まれてゆく。

ゴンクール賞…作家エドモン＝ゴンクールの遺言によって1903年に創設。新進作家を対象に「アカデミーゴンクール」が選定にあたり、毎年もっともすぐれた散文作品に授与される。

『悲しみを聴く石』
アティーク・ラヒーミー著/関口涼子訳
所在:1F 請求記号:953.7/R12



女は、戦場から植物状態となって戻った夫に、初めて愛おしさを覚える。そして、自分の哀しみ、疼き、喜びを語って聞かせる。男は、ただ黙ってそれを聞き、時に、何も見ていないその目が、妻の裏切りを目撃する。

ドゥ・マゴ賞…1933年創設。ゴンクール賞に比べ、より先進的な作品に贈られることが多い。名称は、パリにあるカフェの名に由来する。

『安南:愛の王国』
クリストフ・バタイユ著/辻邦生訳
所在:1F 請求記号:953/B27



革命前夜のフランスからヴェトナムへ派遣された宣教師たち。布教に入った熱帯雨林の中に取り残された修道士(ドミニク)と修道女(カトリーヌ)。暑さ、湿気、降り続く雨…。二人が迎える数奇な運命は。

フェミナ賞…1904年、雑誌『ビ・ウルーズ』Vie heureuse(『フェミナ』誌の前身)に寄稿する女流作家たちによって創設された。審査委員は女性だけの12名。毎年、11月の第4月曜日に選定される。

『フランス的人生』
ジャン＝ポール・デュボワ著/吉村和明訳
所在:1F 請求記号:953.7/D93



ポールは、美しい富豪令嬢と出会い、結ばれる。写真家としても大成功をおさめた幸運な日々…そこに突如、凄まじい悲劇が次々と襲いかかる。スリルいっぱい展開と絶望の最果ての哀愁が胸をえぐる、フランスでベストセラーとなった作品。

『白仏』
辻仁成
所在:1F 請求記号:913.6/Ts41



鍛冶屋から身を起こした<鉄砲屋>楢は、島中の墓の骨を集め仏像を造る事業に晩年を捧げた。明治大正昭和を生きた祖父の人生を描く。1999年フェミナ賞外国文学賞を日本人初受賞。

ストレーガ賞…「日曜会」と称し、ローマのベッロンチ夫妻のサロンに集る文人グループが1947年、ベネベントの製酒業者グイード・アルベルティの資金援助のもとに設けた。毎年6月末、現存作家の作品を対象に選定される。

『素数たちの孤独』
パオロ・ジョルダノー著/飯田亮介訳
所在:1F 請求記号:973/G47



スキー中の事故で脚に癒せない傷を負ったアリーチェ。けた外れの数学の才能を持ちながら、孤独の殻に閉じこもるマッティア。二人は理由も分からず惹かれあい、喧嘩をしながら、互いに寄り添いながら大人になった。だがやがて、小さな誤解が二人の恋を引き裂く。

豆知識

ノーベル賞設立のきっかけ
ダイナマイトなどの爆発物を発明し、巨万の富を得たノーベル。自分の発明品が武器として使われることに悲しみ、遺産全てを人類に貢献した人物に与えるという趣旨の遺言を残したことは有名です。が、他にも理由があった！
ノーベルが43歳で出会った20歳の恋人ゾフィーは、とんでもない悪女でした。15年間の交際では浮気や恐喝を繰り返して、彼が死ぬまでにつぎ込んだお金はなんと302億円以上！これに懲りたノーベルは、自身の遺産をもっと有意義なことに使いたいと考え、遺言を書き残したとされています。